

【文学部 学部間協定留学】留学報告書

記入日	2024年9月12日
所属	文学科ドイツ文学(学科/専攻)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年8月24日
明治大学卒業予定年月	2025年3月

留学先大学について

留学先国	ドイツ
留学先大学	ビーレフェルト大学(日本語名) Bielefeld Universität(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/ドイツ語
留学期間	2023年9月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):人文学部 (現地言語での名称):Literaturwissenschaft</p> <p><input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:</p>
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月～2月 2学期:3月～8月 3学期: ~ 4学期: ~

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	300×2 ゼメスター	94,000 円	登録日とゼメスターチケット代含む
宿舎費	300×11 ヶ月	517,000 円	寮の家賃とテレビ受信代(テレビの有無に関わらず支払うもの)
食費	80×11 ヶ月	137940 円	
図書費	100	17,000 円	ドイツ語の本をいくつか購入
学用品費	150	23,500 円	教科書代+ノートなど
携帯・インターネット費	6×12 ヶ月	11,280 円	
現地交通費		円	ゼメスターチケットがあるため、交通費はかからない
教養娯楽費		円	
被服費	30	4700 円	
医療費	50	7800 円	保険に入つていれば薬代のみ自己負担
保険費	128×12 ヶ月	240,000 円	形態:
渡航旅費	1,276	200,000 円	
ビザ申請費	100	15,600 円	
雑費	1,760	300,000 円	他、出かけた際にかかる費用あり
その他		円	
その他		円	
合計	9256 ユーロ	約 1,570,000 円	

渡航関連			
渡航経路			
往路 出発地:成田 目的地:フランクフルト 経由地:ベトナム・ハノイ			
復路 出発地:デュッセルドルフ 目的地:成田 経由地:タイ・バンコク			
渡航費用			
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:			
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ベトナム航空 料金:95,000 円 復路 航空会社:カタール航空、Zip Air 料金:130,000 円 ∴合計:225,000 円			
航空券購入方法			
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)			
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:ベトナム航空 & カタール航空&Zip Air)			
<input type="checkbox"/> その他()			

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からの斡旋。住居の希望を出して、大学から部屋を提案され、気に入ればそのまま決定

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が入っていた寮は自室が各自あり、バストイレとキッチンが共有でした。同年代の女の子 1 人と共有で住んでいましたが、大きな問題や衝突もなく最後まで快適に過ごせました。完全 1 人部屋の寮もありますが、家賃が平均で 100 ユーロぐらい高くなると思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり (治療を受けた場所:現地の病院と歯医者)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり (問題の内容や相談した人等:メンター(大学生活でサポートしてくれるボランティアの学生)、現地の友人、同じ日本人の留学生)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地の友人から、危険な場所や気を付けなければいけないことを教えてもらいました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内は Wi-Fi があるため困らないです。寮では LAN ケーブルでパソコンをインターネットに繋げて、そこからテザリングをして iPad や携帯でインターネットを利用していました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に普通口座と閉鎖口座を開設してそこから必要経費は出していました。私が留学した期間は円安が酷かったため、できるだけ日本のクレジットカードは使わず現地の銀行口座のデビットカードを使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ある程度のものは現地でも調達できますが、体に合った常備薬やティッシュなどそもそもその品質が違うため、人によっては持っていくことをお勧めします。(花粉症の友人はポケットティッシュはたくさん持っていました。ドイツのティッシュはとても硬く、キッチンペーパーのようでした。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input type="checkbox"/> 6 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch intensiv B1.2(Sprach- und Studienvorbereitung für das Semester)B1.2/B2.2	ドイツ語集中講座 B1.2/B2.2 秋学期準備講座
科目設置学部・研究科	DaF(Deutsch als Fremdsprache)
履修期間	9月14日～10月6日/3月14日～4月3日
単位数	4CP/5CP
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、少人数(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 270 分が 5 回
担当教授	Andrea Didier, Marcella Chebet
授業内容	中級レベルのドイツ語の集中コース。主に教科書に沿って文法やディスカッションを行う。度々各自やグループでのプレゼンテーションもある。
試験・課題など	作文の課題、プレゼンテーション、最後に筆記での終了試験
感想を自由記入	会話の場面が多く、文法事項も抑えてくれていました。一日 4 時間半の授業でやや大変でしたが、この集中講義の終了時には先生や友人からドイツ語力が向上したと言ってもらいました。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch for Fortschritt B2.1/Deutsch für Oberstufe C1.1	ドイツ語集中講座 B2.2/C1.1
科目設置学部・研究科	DaF
履修期間	2023/2024 冬学期/2024 夏学期
単位数	4CP/4CP
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、少人数(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Andrea Didier, Julia Rink
授業内容	主に会話やディスカッションのスピーキングに重点を置いた授業。30 分ほど文法について学ぶ日もある
試験・課題など	最後のグループでのプレゼンテーション、筆記試験
感想を自由記入	スピーキングメインの授業でした。クラスの雰囲気も良く質問しやすい環境で、ドイツ語力を向上させることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Aussprachetraining für Deutsch als Fremdsprache	外国語としてのドイツ語の発音トレーニング
科目設置学部・研究科	DaF
履修期間	2023/2024 冬学期
単位数	1CP
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、少人数(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Julia Rink
授業内容	ドイツ語発音トレーニング
試験・課題など	期末に詩の暗誦テスト
感想を自由記入	ドイツ語の発音を改善することでリスニング力向上にも繋がりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Wortschatz und Formulierungstreining für Deutsch zur Wissenschaftssprache 2 C1/C2	学術言語のための語彙と形式 C1/C2
科目設置学部・研究科	DaF
履修期間	2024 夏学期
単位数	4CP
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、少人数(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Kaplinska-Zajontz
授業内容	論文を読んだり書いたりするための語彙や表現を学ぶ
試験・課題など	期末の筆記試験
感想を自由記入	日常生活では使わないような専門的ないわゆる書き言葉を学ぶことができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えて下さい。また、その企業を選んだ理由も教えて下さい。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えて下さい。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えて下さい。

現段階では大学院進学を視野に入れている。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学プログラムの選択。休学して自分で探すか、大学のプログラムを利用するか。
	10月～12月	情報収集
留学開始年	1月～3月	ドイツ語の試験受験(Goethe Zertifikat)
	4月～7月	事務的手続き＆ドイツ語の勉強
	8月～9月	準備＆出発
	10月～12月	留学中
留学/帰国年	1月～3月	留学中
	4月～7月	留学中 留学後の進路について本格的に情報収集
	8月～9月	帰国、ドイツ語の試験勉強
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学中は、ストレスや環境の変化で、普段健康な人も体調を崩しやすいと思います。特に親知らずがある人は事前に抜くか、1年間炎症を起こさず耐えられるか歯医者さんと相談してきたほうがいいと思います。体調を崩したり、ストレスで突然悪化することもあるため、まだ親知らずがある人はご注意ください。
保険に加入しているため治療費を追加で取られることはありますが、現地で病院にかかるのはやはり不安もあるかと思われますので防げるものは留学前に対策をしておくことをお勧めします。